ISSN 1341-4046

埋文やまがた

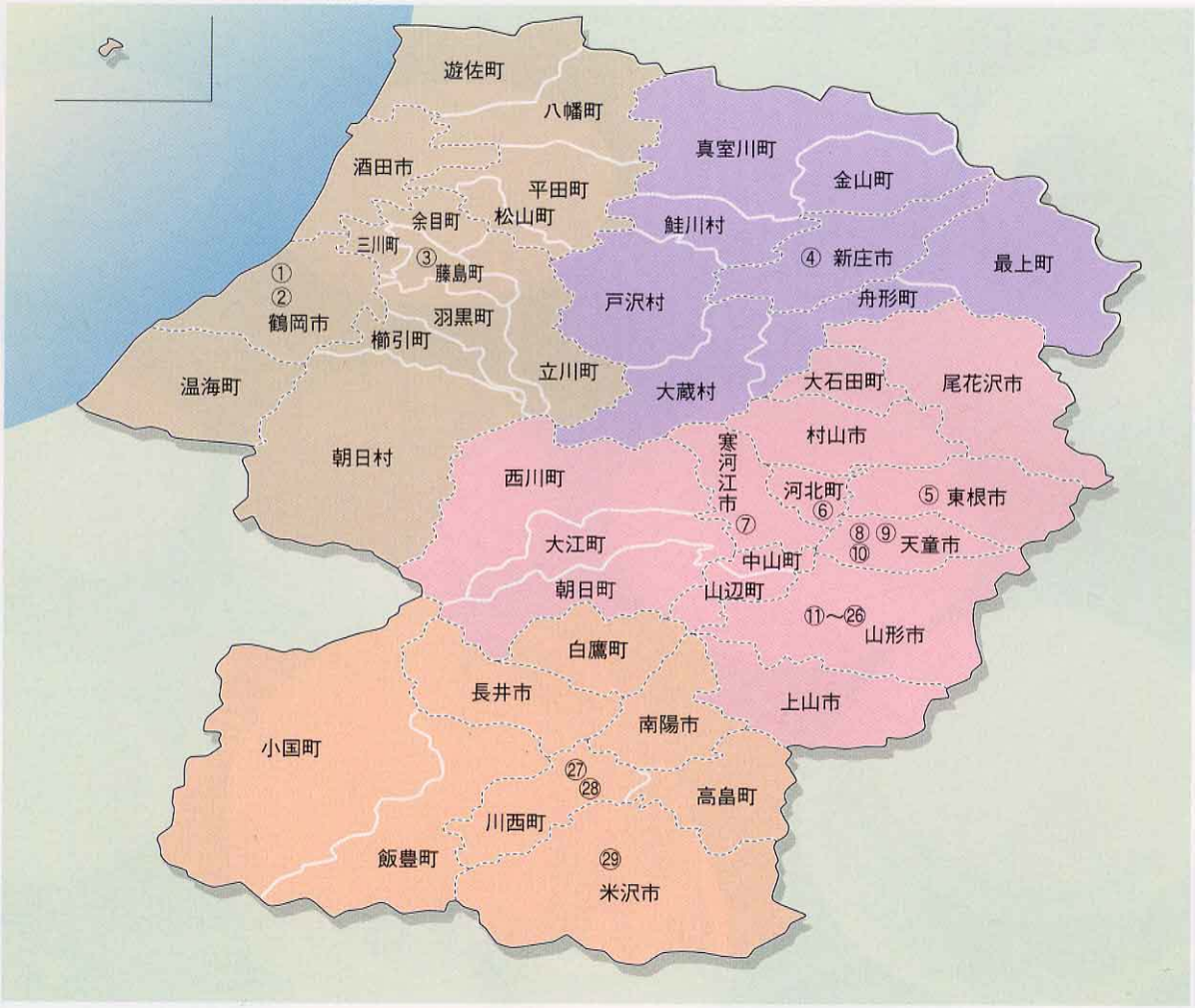
1999年6月30日
第14号

川西町 太夫小屋1遺跡出土の土器
硯・須恵器・赤焼土器

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURE ARCHAEOLOGY CENTER
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586

平成11年度の発掘調査

今年度は発掘調査が29遺跡あり，ほかに予備調査が予定されています。東北中央自動車道関連の調査を主に面積にして158,400平方メートルになります。注目される遺跡には，縄紋時代晩期の水辺に作られた木組み遺構と石組み遺構が見つかった高瀬山遺跡があります。また，昨年とても珍しい布掘り筏地業が見つかった太夫小屋遺跡そばの太夫小屋２・３遺跡，中世・近世城館跡の鶴ヶ岡城跡と小田島城跡などが上げられます。



	遺跡名	市町村	時　代	種別	開始	終了
1	山田遺跡	鶴岡市	古墳～中世	集落跡	5/6	8/6
2	鶴ヶ岡城跡	〃	中世・近世	城館跡	7/5	11/19
3	藤島Ｄ遺跡	藤島町	中世	集落跡	8/23	10/15
4	中川原Ｃ遺跡	新庄市	縄紋	〃	5/10	10/8
5	小田島城跡	東根市	縄紋～近世	城館・集落	5/10	11/18
6	四ツ塚遺跡	河北町	平安～中世	集落跡	9/20	11/11
7	高瀬山遺跡(ＨＯ)	寒河江市	縄紋～平安	〃	4/19	11/12
8	砂子田遺跡	天童市	縄紋	〃	4/20	7/16
9	蔵増押切遺跡	〃	古墳～近世	集落・水田	4/20	11/12
10	板橋２遺跡	〃	縄紋～近世	集落跡	4/20	7/28
11	中地蔵遺跡	山形市	縄紋・平安	〃	4/19	6/18
12	梅ノ木遺跡	〃	古墳～平安	〃	7/5	9/16
13	一ノ坪遺跡	〃	平安	〃	5/11	6/23
14	北柳１遺跡	〃	縄紋・弥生	〃	9/6	10/27
15	小松原窯跡	〃	縄紋・奈良	窯跡・集落	4/19	11/5
16	石田遺跡	山形市	縄紋・平安	集落跡	5/11	8/6
17	谷柏Ｊ遺跡	〃	古墳～近世	〃	4/21	6/23
18	萩原遺跡	〃	古墳～平安	〃	6/24	10/6
19	志戸田縄遺跡	〃	古墳	〃	4/19	8/6
20	服部遺跡	〃	古墳～中世	〃	5/10	11/18
21	藤治屋敷遺跡	〃	平安～近世	〃	5/10	11/18
22	馬洗場Ｂ遺跡	〃	古墳～平安	〃	4/21	7/9
23	向河原遺跡	〃	平安	包蔵地	6/7	9/17
24	渋江遺跡	〃	平安	集落跡	9/20	11/18
25	三条ノ目遺跡	〃	古墳	包蔵地	7/26	8/27
26	的場遺跡	〃	古墳～近世	集落跡	7/26	11/26
27	太夫小屋２遺跡	川西町	古墳～平安	〃	7/21	12/3
28	太夫小屋３遺跡	〃	古墳～平安	〃	7/21	12/3
29	中里遺跡	米沢市	平安・中世	散布地	8/16	10/8

日本考古学年表

年代	北海道	本土	沖縄	主なできごと	県内の主な遺跡
60万年前		旧石器時代 前期	旧石器時代	日本列島に人（原人）が住み始める	袖原遺跡（尾花沢市）
13万年前		旧石器時代 中期			弓張平B遺跡（西川町）
3万5000年前	旧石器時代	旧石器時代 後期		石斧・ナイフ形石器など日本列島固有の文化成立	お仲間林遺跡（西川町）
3万年前					
2万5000年前					
B.C.11000（1万3000年前）	縄紋時代	縄紋時代 草創期		土器・石鏃の使用が始まる	日向洞穴遺跡（高畠町）
		縄紋時代 早期	貝塚時代 前期貝塚時代	貝塚の形成，土偶の使用が始まる	いるかい遺跡（尾花沢市） 月ノ木B遺跡（南陽市）
B.C.4000（6000年前）		縄紋時代 前期		漆の使用始まる 気候の温暖化，海が内陸に入る	押出遺跡（高畠町） 吹浦遺跡（遊佐町）
B.C.3000（5000年前）		縄紋時代 中期		太平洋沿岸に大規模な貝塚が成立 東日本で装飾豊かな土器が作られる	西ノ前遺跡（舟形町） 西海渕遺跡（村山市）
B.C.2000（4000年前）		縄紋時代 後期		環状列石を持つ墓地・祭祀場が発達する 土偶・仮面・石刀等の祭祀盛んになる	川口遺跡（村山市） 泥部遺跡（上山市）
B.C.1000（3000年前）		縄紋時代 晩期		東日本に亀ヶ岡文化が栄える 九州北部に水田稲作が伝わる	宮の前遺跡（村山市） 北柳1遺跡（山形市）
B.C.300 紀元前	続縄紋時代	弥生時代		鉄器使用始まる	生石2遺跡（酒田市）
A.D.1 紀元後			後期貝塚時代	近畿中国四国を中心に銅鐸が広まる 倭国の内乱	蟹沢遺跡（東根市） 山形西高遺跡（山形市）
300		古墳時代		239　邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る 大型の前方後円墳が各地に作られる	物見台遺跡（中山町） 稲荷森古墳（南陽市）
400				武器武具が古墳に盛んに副葬される	西沼田遺跡（天童市） 大塚古墳（山辺町） 大之越古墳（山形市）
500	オホーツク文化期				菅沢古墳（山形市）
600	擦紋時代	飛鳥時代		538　百済から仏像・経典伝来 645　大化改新，律令国家の形成へ 各地で寺院造営され仏教が広まる	清水前古墳（高畠町）
700		奈良時代		694　藤原京を造営する 710　平城京に都を移す	山楯5窯跡（平田町） 生石2遺跡（酒田市）
800		平安時代		802　坂上田村麻呂，胆沢城を築く	俵田遺跡（八幡町） 城輪柵遺跡（酒田市） 山海窯跡（平田町）
900					八森遺跡（八幡町） 大浦B遺跡（米沢市） 道伝遺跡（川西町）
1000			グスク次第		堂ノ前遺跡（八幡町）
1100					平野山窯跡（寒河江市） 手蔵田遺跡（酒田市）
1200	アイヌ文化期	鎌倉時代	古琉球	1192　源頼朝，鎌倉幕府を開く	大楯遺跡（遊佐町） 七日台遺跡（鶴岡市）
1300				1274・1281　文永・弘安の役（元寇）	柳沢A遺跡（櫛引町）
1400		南北朝時代	三山時代		藤島城跡（藤島町） 山楯楯跡（平田町） 山形城跡（山形市）
1500		室町時代	第一尚氏時代 第二尚時時代前期	1467　応仁の乱，戦国時代へ 戦国大名が城館・城下を築く	米沢城跡（米沢市） 寒河江城跡（寒河市） 大宝寺城跡（鶴岡市）
1600		安土桃山時代		1576　信長安土城を築く 1615　大坂夏の陣	亀ケ崎城跡（酒田市）
1700		江戸時代	近世琉球		新庄城跡（新庄市）
1800			第二尚氏時代後期	江戸城と城下町の整備	
1900	近代・現代			1868　江戸が東京となる	

遺跡トピックス

川西町

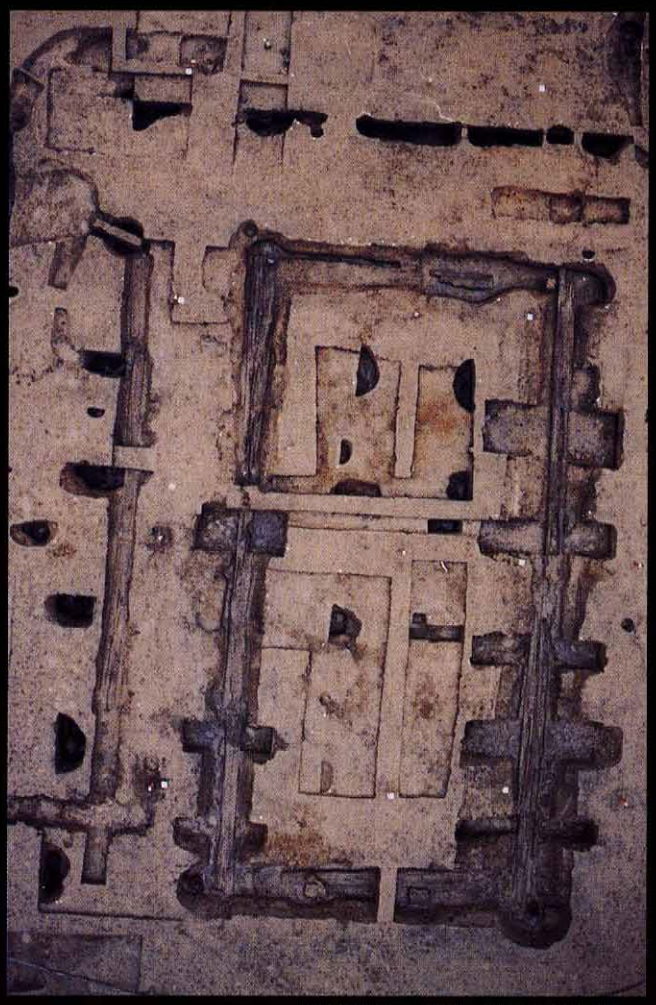
太夫

川西町の水田地帯に位置する太夫小屋１遺跡は，黒川と誕生川に挟まれた微高地にあります。発掘調査により，計画的に配置された掘立柱建物跡が多く見つかりました。中でも布堀筏地業建物は，柔らかい地盤で建物が沈下しないように工夫したものと考えられ，奈良・平安時代の大規模な建物としては全国的にも珍しいものです。

出土品には，多くの墨書土器や硯など，古代の役所に関係したものと，浄瓶や香炉の蓋などの仏教に関係するものが見られます。

（高橋　敏・尾形與典）

筏地業に載る柱

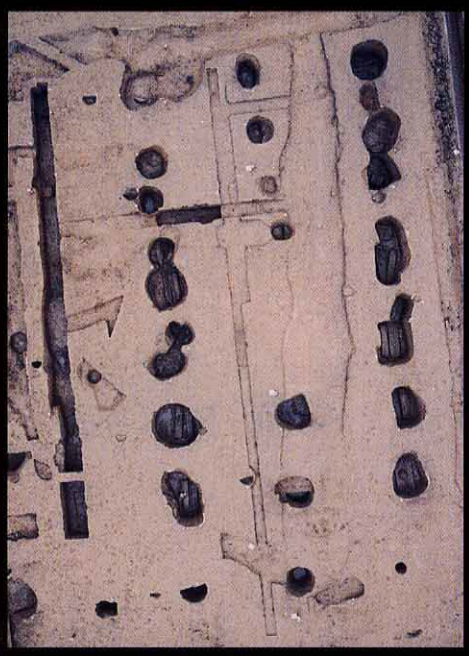


筏建物跡と重なる礎板建物跡

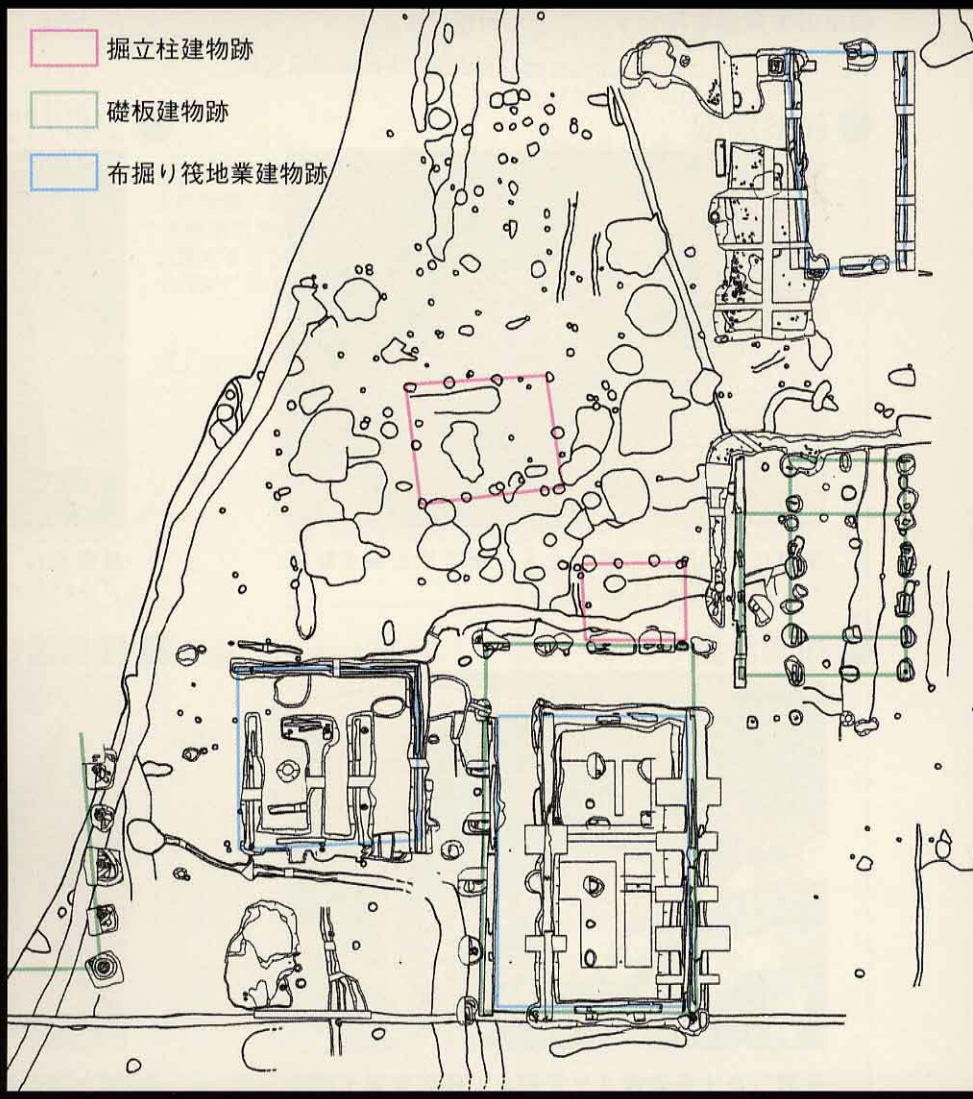
小屋1遺跡

柱据え付けのようす

全体図（航空写真）



礎盤建物跡



筏地業のようす

科　学　の　目

― 考古学を支える諸科学 ―

埋蔵文化財の調査研究や保護等には，自然科学や保存科学などの諸科学と連携をとる事はとても重要です。ハイテクを駆使した各種分析法のめざましい進歩で，従来の考古学的手法だけではわからなかった様々なことが解明出来るようになりました。

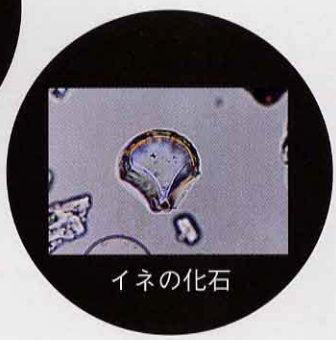
また，出土した貴重な遺物資料は可能な限り原形のままで，未来へと残していかなくてはなりません。ここでは，そんな頼もしい「自然科学的分析法」と「遺物保存処理法」の一端をご紹介します。

（須賀井新人）

■植物珪酸体（プラント・オパール）分析

植物には珪酸体という内部にガラスの蓄積した細胞があります。これは植物が枯れても腐らずに原形を保ったままで，微化石となって何千年も土中に残ります。珪酸体の形は植物の種類によって特徴があるため，遺跡内に堆積している土壌を分析することで，植生や気候などの古環境を復元することができます。特に，栽培植物であるイネ科の植物珪酸体は水田跡の確認や探査に盛んに活用されており，その量を調べれば当時の米の生産量を推定することも可能です。

資料提供：㈱古環境研究所



0　50　100μm

● 試料採取

遺構などの断面の堆積土を，層序や土質を記録したあと柱状に採取します。

● プレパラート作成

超音波などで一定の大きさの粒子を抽出して，プレパラートを作成します。

● 試料計量

採取した土を乾燥させて砕き，精密な電子秤で約1グラムずつ計量していきます。

● 顕微鏡観察

偏光顕微鏡を覗いて，それぞれの植物の化石数を一点一点数えていきます。

■金属製品の保存処理

出土した金属製品は，土や錆で膨れてもろい状態になっていることが多く，そのまま放置しておけば朽ちてしまいます。錆の元となる塩類を除去し，錆がそれ以上進行しないよう合成樹脂を浸み込ませて強化してやらなくてはなりません。

出土遺物はこうした保存処理を行なうことにより，将来にわたって研究や学習の資料として活用できるようになるのです。

資料提供：東北芸術工科大学保存科学研究室

事前調査

X線透過写真で出土品の製作技法や錆の進行状態を把握し，顕微鏡等で金属の材質や錆の種類を調べます。

クリーニング

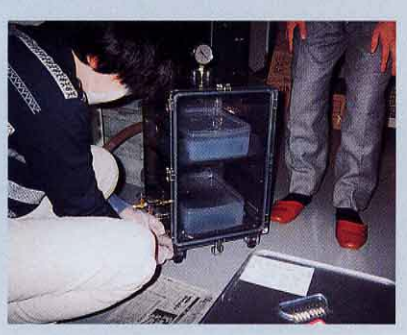
筆や竹串，ニッパーなどを使って出土品の土と錆を取り，木質部・顔料等を確認します。

脱塩処理

出土品に含まれる塩類を，薬品を入れた溶液に浸し取り除きます。

樹脂含浸

アクリル樹脂を減圧しながら含浸します。これにより遺物の表面に膜が張り，遺物を保護します。

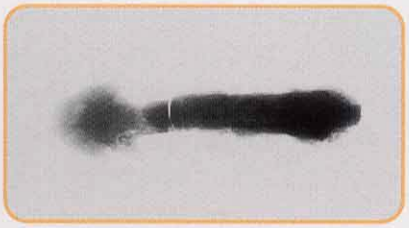


保　管

専用ケースなどに入れ，処理方法に適した温度と湿度を保ち，大切に保管し活用していきます。

三条遺跡出土　鉄鏃

保存処理前



X線透過写真

保存処理後

酒田市　国指定史跡
城輪柵跡

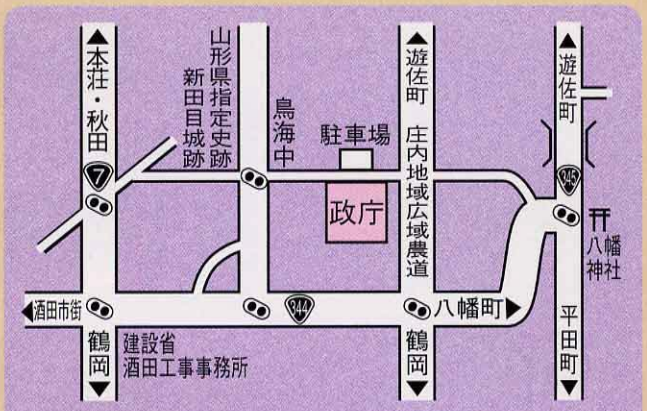
今から約1200年前の平安時代，山形県は出羽と呼ばれる国の一部でした。その出羽国の役所である国府が，ある時期に置かれていたのが「城輪柵跡」です。国府は今でいうと県庁のような役割をしていたところです。

昭和６年（1931）に，城輪地区の水田から角材が並んで見つかりました。その後の発掘調査などで、一辺700メートルにもおよぶ方形の施設になることや，内郭（政庁）となる中心部分が存在し建物が平城宮や平安宮のように整然と配置されていることが明らかになりました。この成果をもとに，平安時代の役所が遺跡の上に復元されています。酒田市街地の東部を車で走ると，鮮やかな朱色の柱と重みのある灰色の瓦が目に入ってきます。実物大の門と土の塀で囲まれた空間は，鳥海山の麓に広がる静かな水田地帯に平安時代の時を留めているようです。

城輪柵跡は体で歴史を感じることのできる場所として多くの人々が訪れています。南門を背にした広場は，大河ドラマのロケや，野外コンサートの会場にも利用されています。毎年夏に「国府の火まつり」が行われます。今年は８月８日，かがり火のなか，地元特産品の販売や民俗芸能などが予定されているそうです。

（水戸弘美）

政庁の想像図



城輪柵跡マップ

資料提供：酒田市教育委員会

西門方向から，東門と南門を望む

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は，当センター研究課まで電話にてお問い合わせ下さい。なお，郵送料はご負担いただきます。

電話 **023(672)5301**（代表）

編集後記

今年度から広報誌の編集委員会を設け，企画・レイアウトに知恵を絞り合いました。限られた紙数ですが，新しい切り口で埋蔵文化財の情報を皆様へお届けしていきます。（郊）